

## 第 12 回京都BCPライフライン連絡会 結果概要

**1 開催日時**

令和 7 年 8 月 21 日（木）10 時～11 時

**2 開催場所**

京都府庁危機管理センター災害対策本部会議室 A  
オンライン併用（Zoom）

**3 参加機関**

NTT 西日本(株)、関西電力送配電(株)、大阪ガスネットワーク(株)、  
(一社)京都府 LP ガス協会、(株)ドコモ CS 関西、KDDI(株)、楽天モバイル(株)、  
ソフトバンク(株)、京都市（防災危機管理室、土木管理課、上下水道局）、  
京都府（道路管理課、水道政策課、下水道政策課、災害対策課）

**4 議事内容**(1) 令和 6 年能登半島地震の教訓を踏まえた見直し・改善点等について

以下のとおり、報告資料に基づき報告及び意見交換を実施

**【京都府災害対策課】**

- ・第四次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの策定について

**【京都府道路管理課】**

- ・京都府域道路啓開計画（案）について

**【NTT 西日本株式会社】**

- ・NTT 西日本の災害対策の取組について

**【意見交換】****(KDDI)**

- ・災害時の道路啓開情報等の被害情報の収集について、道路啓開一元化窓口を通じて情報収集を行うという認識で間違いないか。

**(府道路管理課)**

- ・道路啓開情報等の情報共有の考え方については、今年度新たに構築予定の情報共有システムの内容も含め、国において検討中
- ・基本的には一元化窓口を集まった情報を確保いただきたい。

**(府災害対策課)**

- ・災害時は京都府危機管理センターにおいて、情報の集約化を行い、道路の被害状況等、被災地応援に必要な情報について各事業者様のリエゾンの方と連携しながら情報共有することを想定している。
- ・また、災害対策本部事務局において、ライフライン対応グループを中心とした連絡体制をとっており、現地の活動拠点確保に関する情報収集・共

有など連携を図って災害対応に取り組んでまいりたい。

(楽天モバイル)

- ・ 災害時におけるリエゾン派遣について、方針や基準等についてあれば教えてください。

(府災害対策課)

- ・ 明確な方針等は定まってはいるが、京都府の広域防災活動拠点など応援の拠点となる場所の調整等について、災害対策本部事務局のライフライン対応グループと調整いただくことを想定しており、災害の規模や種類、その内容に応じて、リエゾン派遣について検討していただきたい。

(ドコモ CS 関西)

- ・ 令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、災害後の命と健康を守る対策としてボランティアの方との連携体制や平時からの避難所等との情報連絡体制の構築などについて、どのような考えをもっているか教えてください。

(府災害対策課)

- ・ NPO ボランティアとの円滑な連携については、災害中間支援組織の育成などを中心に平時から連携できる体制作りに取り組んでいるところ。

(関西電力送配電)

- ・ 昨年度、災害対策本部事務局訓練に参加させていただいたが、リエゾン派遣時の通信環境や情報収集の流れの確認など非常に良い経験となった。
- ・ 今後も定期的に、訓練に参加させていただくなど、連携をはかってまいりたい。

(府災害対策課)

- ・ 昨年度は京都府危機管理センターを活用した訓練に参加いただくとともに、府としても個別にライフライン事業者様の危機管理体制を見学させていただいたところ。
- ・ 引き続き、本連絡会や訓練等、あらゆる機会をきっかけに各ライフライン事業者様等との顔の見える関係づくりを進めるとともに、有事の際には連携して災害対応に取り組んでまいりたい。

(2) 大規模災害における停電復旧の連携等に関する基本協定の締結状況について

府では、R3.11.29に関西電力送配電㈱と「大規模災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定※」を締結。

以降、府内市町村と同様の協定を順次締結し、令和7年7月末時点で25市町と協定締結（南山城村との締結に向けて調整中）

※京都府内で地震および風水害・雪害等による大規模災害が発生した場合などに、府と関西電力送配電が相互に連携し、府へのリエゾン派遣や道路上の障害物除去、電源車の配置といった対応を迅速かつ的確に実施することにより、停電の早期復旧を進めることを目的としている。

### (3) 令和7年度ライフライン連絡会図上訓練の実施について

9月4日ライフライン事業者と府で災害時における情報共有・災害対応の連携を図ることを目的として訓練を実施。訓練内容は以下のとおり。

<訓練項目>

- 被害に係る情報共有・重要施設の電源確保訓練
- 応援拠点の要請に係る訓練
- 避難所等での通信環境確保に係る訓練

### **今後の取組について**

大規模災害時に備えて、平時からライフライン事業者と連携を図るために、引き続き、意見交換等を実施していくとともに、複合災害を想定した訓練を実施することで、連携を深める。